

八峰コミスク通信

平成30年度
第 2 号
H30/4/27 文責
CSディレクター
川尻

各校のPTA総会でコミスクの説明

各校で行われたPTA総会で、教育長が八峰町の教育行政説明を行った後、CSディレクターがコミスクの意義や目指すもの、町の共通実践事項「八峰町小・中学生の生活」について説明しました。

その際、保護者の皆さんに、次の2点をお願いしました。

一つは、八峰町の子どもたちを大事にして欲しいということ。保護者の皆さんにとつ

小学1年初めての授業
参観。すでに立派な姿。



て自分のお子さんが一番大事だと思えます。ぜひ大事に育ててください。その上で、我が子の友達は？クラスメイトは？上級生下級生は？そして隣の学校の子どもたちはどうだろうか？と興味をもち、「八峰町の子ども」として大事にしてください。

もう一つ、保護者の皆さんは紛れもなく八峰町民として「八峰町を支える人材」です。皆さんが八峰町で生活



千葉教育長が町独自の
教育行政について説明。

し、働いていることに誇りと自信をもち、その姿を子どもたちに示して欲しいということ。それが、将来の八峰町を何らかの形で支える人材の育成につながると思います。皆さんの御協力、よろしく願います。

地域と関わる学校の活動

両小4年生が水産教室として、真瀬川で鮭の稚魚放流を行いました。帰ってくるまで海・川をきれいに保とう！



八峰町コミスクの仕組み

「地域とともにある学校づくり」のため、コミスク関係の組織の役割は次のようになります。

各小・中学校では

「地域とともにある学校」づくりのため、地域住民・保護者に学校の情報提供し、意見を生かした学校経営をするとともに、地域の教育力を生かした学習や地域に貢献する活動、子どもたちと地域住民等との交流活動等に取り組みます。

学校運営協議会では

年度当初に学校経営基本方針を承認し、年度末に学校関係者評価を行うことで、学校経営のPDCAサイクルをチェックし意見を述べるとともに、各校が「地域とともにある学校づくり」を推進できるよう、地域住民・保護者の学校経営参画や協働による活動を推進するための協議等を行います。

教育委員会及びCS推進協議会では教育委員会は学校運営協議会の設置や委員任命、コミスクの指定を行い、適宜助言します。CS推進協議会はCSディレクターを中心として学校運営協議会や熟議、研修会等の運営に関わる協議やコミスク推進の具体的な取組についての協議等を行います。

八峰町コミュニティ・スクールの仕組み

